

宮城県利府高等学校 PTA 会報



鴻志

—第72号—

初代校長 橋本力先生書



ロゴ原案作成 22年度卒業 佐藤 正啓

体育大会

令和元年10月3日(木)・4日(金)



この時期に思うこと…

教頭 山崎 健二

毎年、卒業を控えたこの時期になると思い浮かぶ諺があります。石の上にも三年。この諺の意味は「忍耐強く頑張っていれば、いつかは報われる」です。耐え忍ぶことばかりに注目されると少々ニュアンスが変わってしまうので、ここでは本来の意味に沿って話しましょう。

この諺の「三年」は厳密な期間ではなく、「長い間」と捉えるのが正しいようです。多くの人は、長い年月をかけて様々な物事を覚えていきます。何かを極めようとするには相当の時間を要しますが、要する時間は人それぞれであり比較するものではありません。大切なことは、自らの目標を見失わず、何らかの成果が表れるまでその努力を継続することだと思います。

卒業生の皆さん、利府高校での3年はいかがでしたか。誰にとっても「3年」は等しく過ぎたはずですが、目に見える形で成長や成果を実感できた人もいれば、いざ花咲く自己の可能性を信じて今も努力を継続している人もいます。利府高校での3年間の学びを生かして、次のステージでも新たな目標を見つけ、それに挑戦し、人として成長し続けて下さい。

最後に、卒業生の保護者の皆様に心からお祝い申し上げますとともに、これまでのPTA活動へのご理解とご協力に深く感謝いたします。在校生の保護者の皆様には、今後とも本校へのご支援をよろしくお願いいたします。

全員の御苦労に感謝します

教頭 大宮司 昭倫

鴻志編集委員の保護者の皆様、担当の先生方、大変お疲れ様でした。「鴻志」の発行によって多くの方々に本校の教育活動を知ってもらえることは大変貴重であり、日々、努力を続ける本校生徒の励みとなるものです。編集委員の御苦労に心より感謝致します。

さて、みなさんは編集委員の実際の苦勞を想像できるでしょうか。構想を考え、原稿を頼み、レイアウトを考え、業者とやりとりし、編集し、発行に至った。簡単に説明できますが、そのひとつひとつの裏側には様々な事があり、簡単な仕事ではなかったはず。

どんなことでも「目に見えない苦勞」がたくさんあります。おそらくご家庭でも苦勞は多いと思います。誰しも日々の生活の中で一生懸命に考え、苦勞して何かを成し遂げようとしています。

今年一年も、本校の先生方は、授業、部活動などを通して、少しでも生徒たちの成長につなげようと苦勞してくれました。保護者の方々も思いは同じだと思います。

生徒のよりよい成長は社会の発展そのものです。これからも保護者と教師がお互いを信じて、生徒の育成を後押しできるように頑張りたいと思う一年でした。

可愛い子には旅をさせよ

校長 會田 敏

父母教師会会員の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に深いご理解と多大なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。昨年の台風19号等の豪雨災害において被災されたご家庭におかれましては、心からお見舞い申し上げます。早く今までの生活に戻れますようご祈念申し上げます。

さて、今年度途中から第1体育館の大規模工事により、生徒には不自由な思いをさせてきましたが、利府高祭・体育大会等の各行事において、創意工夫ある企画運営に、主体性や創造性を感じ、「心はひとつ」を想い実行しようとする姿は彼らは大変嬉しく、たくましさを感じました。悪条件を突破したその先には、必ずや成長と大きな前進があると信じています。

「可愛い子には旅をさせる」とよく言います。自立心を養うには、親を離れ自分の責任の下に行動させ、失敗しながら自信をつけることが必要だと思います。見知らぬ町に赴く(おもむ)き冒険する好奇心、広い視野を身につけて欲しいと願っています。意欲が芽生え行動力が出ると人々と積極的にコミュニケーションをとり、人々の優しさを感じ、リスペクトする心が醸成できるものと期待しています。また、本校での学びを活かせる機会があると信じております。進路選択等を含め、保護者の皆様にも、勇気を持って背中を押してご支援いただければと思います。

第36回 利府高校体育大会 結果

種目別 第1位

1日目		2日目	
長縄跳び	2年4組	バレーボール(男)	3年1・2組
玉入れ	3年1組	バレーボール(女)	3年3・4組
綱引き	3年1・2組	バスケットボール(男女)	3年1・2組
借り人リレー	1年2組・2年2組・3年7組	サッカー(男)	3年3・4組
縦割りリレー	1年1組・2年1組・3年1組	サッカー(女)	1年1・2組
20人21脚	2年2組	ソフトボール(男)	2年1・2組
クラス対抗リレー	2年2組	ドッジボール(女)	1年1・2組

総合順位



3年1組バンザイ

3年1組 遠藤 広貴



私達はこの三年間で様々な苦悩や挫折を経験しながらも、友達や先生方、保護者にも支えられ、充実した学校生活を送ることができました。特にスポーツ科学科ではオーストラリアへの修学旅行や卒業論文の作成など、他では味わえない貴重な体験ができました。また、スポーツ科学科は、「利府高校で自分の夢を実現させたい」という信念を持って入学し、先生や先輩から厳しい声を浴びながらも、懸命に努力しました。期待した成果が得られなかった人がほとんどでしたが、この三年間での大きな財産として将来へ活かしていきたいと思っています。



夢に向かって

3年2組 小幡 剣人



私たちスポーツ科学科は、様々な活動を通し、スポーツと関わって来ました。中には、経験する機会が少ない海外のスポーツや、その立場にならないと分からない障がい者スポーツもありました。更に、普段の学校生活や行事を、仲間との協力で達成し、充実した3年間を送ることが出来ました。これは、支えてくれた親や先生方などが、私たちの力になってくれたからだと思います。これからもその感謝を忘れず、それぞれの夢に向かって、努力し続けていこうと思います。



環境に感謝

3年3組 大友 直樹



私は利府高校に入学して多くのことを学ぶことができました。この三年間の学校生活では、仲間、先生方、恵まれた環境の中で大きく成長することができたと思います。自分自身もバスケットを通して技術だけでなく、心と体を鍛えることもでき、何よりも、環境に感謝することの大切さを学びました。自分のことだけでなく、周りのことを考えながら生活をし、互いに支え合い、「team」となって大きく成長できたことが、自分にとっての良い思い出となりました。一人一人が利府高校で学んだものは、社会において必ず役立つはずだと思います。この三年間の学校生活に会えたことに感謝しています。



大変だった、でも健気に頑張った3年間

3年4組 古川 喬也



期待に胸を膨らませた三年間。高校の校舎がとても大きかったのを覚えている。知っている中学校の仲間もいたが大半は知らない人ばかり。なじめるかとても不安でした。部活動をはじめ学校生活は思ったより厳しく、何度もやめようかと思った。そんな中仲間の支えもあって、難しい勉強もなんとか自分のペースでこなせて今日ここまで来ることができました。そうしてあっという間の3年間でした。もっと高校生活を送りたいと思うこともありますが、ここで次のステップに進んでいかねばなりません。ここまでの高校生活を糧にして、自分から行動を起こせる大人になっていきたいと思っています。



★ You SHOW MUST GO ON!! ★

Mr.Horikoshi and our class's everyday memories

3年5組 鈴木 里桜



利府高校での高校生活を振り返ると、本当に三年もあったのかな？と思う程、一日一日が濃すぎる高校生活でした。今年度はどんな行事にも「最後」という言葉が付きましました。どんなに悲しんでも高校三年生になった私たちにその言葉がつくのは当然です。しかし、私たちだけでなく三年五組の担任をしてくださった堀越先生にも、「最後」という言葉が付きまします。先生は私たちの入学と同時に利府高校に赴任され、私たちの卒業と同時に定年退職を迎えられます。先生と高校生活を過ごせて楽しかったです。ありがとうございました！



利府高校に入学して良かった

3年6組 大平 優真



「利府高校に入学して良かった。」卒業が近づいている今とても強く感じます。そう感じれるのは多くの人に支えられてきたからだと思います。私は、3年間サッカー部に所属しサッカーと勉強の両立を頑張りました。想像以上に難しかったです。部活では、新人戦、高総体と結果を出すことができず辛く、苦しい時期を経験しました。何とかしようとする思いがぶつかる時もありましたが、最後の選手権では宮城県で一番と言えらるほどの団結力のあるチームに成長しました。サッカー部のみんなありがとう。学校生活でも男女が仲良く、普段の会話でふざけたり、お互いを応援したりして、みんなのおかげで充実した生活が送れました。みんなありがとう。多くの先生方にも迷惑をかけましたが、成長することができたと思います。先生方ありがとうございました。利府高校最高!!



感謝

3年7組 齋藤 萌



私の高校生活は振り返ってみると周りの人に支えられることが多かった三年間でした。部活動ではラグビー部に所属し、マネージャーとして選手をサポートしていく中で選手の一生懸命な姿に励まされることが多くありました。また、クラスでは全員の仲が良く、辛い時こそ他愛のない会話や友達との存在に支えられました。そして、自分の夢の実現につながる進路達成に関わって下さった先生方にも支えられました。そのような友達、先生方に出会えたことに感謝し、これから進む新しい道でも頑張っていきたいと思っています。



PLUSU ULTRA さらにむこうへ

3年次主任 佐藤 剛



時間が過ぎるのは早いものです。この3年間という時間を君たちと過ごすことが出来た事、本当に幸せに思います。今思い起こせば、つけないだの出来事のように思い出されます。不安と期待、希望に満ちた1年次。先輩として、後輩の面倒を見なくてはならぬ、責任を感じた2年次。伝統の重みや、先輩方の偉大さを感じた3年次、最上級生。どのステージでも君たちは、笑顔とチームワークを持って過ごしてくれました。日々の成長を感じさせられた行動・言動に胸が熱くなりました。最高の仲間と最高の時間を共有できた事に感謝し、今後の人生を送ってもらいたいと思います。卒業おめでとう。そして有り難う。



文化部の活躍

書道部

●令和元年度 第43回 全国高等学校総合文化祭 書道部門 県代表 3年 高橋 美音鈴 (漢字部門)
 ●令和元年度 第68回 宮城県高校書道展覧会 推薦(最高賞) 3名 特選 2名 金賞 6名
 2年 土井 あかり (令和2年度 第44回 全国高校総合文化祭書道部門 県代表)



写真部

2019松島モデル大撮影会 学生の部
 最優秀賞 2年4組 八木 来珠
 宮城県高文連東部支部総合文化祭写真展
 優秀賞 2年5組 三浦ひな美
 宮城県高文連東部支部総合文化祭写真展
 奨励賞 2年3組 須藤 宗賢



美術部

第1回 宮城県高等学校東部地区美術展
 佳作賞 全員、
 奨励賞 ダブル受賞1名



文芸部

宮城県高等学校文芸作品コンクール・入選 (小説部門)
 (令和2年度 北海道・東北大会小説部門県代表)
 2年 遠藤 七菜海



JRC部



華道部



自然科学部

日本地球惑星科学連合2019年大会高校生セッション 努力賞
 第4回環境マルシェ 環境デザイン教育研究センター長賞
 サイエンスキャスル 2019年東北大会 奨励賞



吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール第62回宮城県大会予選
 第31回多賀城・石巻地区大会 高等学校小編成の部 銀賞
 全日本アンサンブルコンテスト第52回宮城県大会予選
 アンサンブルコンテスト 多賀城地区大会
 銀賞3団体、
 銅賞1団体



囲碁将棋部

第43回全国高校囲碁将棋選手権大会
 C組第1位 千葉 礼基
 第36回宮城県高等学校新人大会
 B級第1位 千葉 礼基
 第20回東北地区高等学校将棋新人戦出場
 櫻井 真想



家庭部



茶道部



普通科 修学旅行の思い出



2年7組 川畑 菜々

私達普通科は関西へ三泊四日の修学旅行へ行ってきました。この修学旅行では、集団行動の大切さや新たな事に足を踏み入れることの楽しさを知るきっかけとなりました。
 特に班別研修では、各班ごとに大阪や京都の文化や歴史を学びました。初めての土地の中で班員全員で協力し合い、その土地ならではの貴重な体験をすることができました。
 この四日間で経験して得たことを今後の学校生活に生かしていきたいと思えます。



2年次 修学旅行

スポ科 オーストラリア修学旅行

2年1組 長岡 和輝

私たちスポーツ科2年次は12月1日から6日まで3泊6日でオーストラリアへ行って来ました。日本では見られないコアラやカンガルーと触れ合ったり、普段は体験することのないサーフィンをするなど充実した研修になりました。最終日のモーニングセッションではハードなトレーニングを全員で乗り切り、スポ科の絆がより深まったように感じました。修学旅行に携わっていただいた全ての人に感謝します。ありがとうございました。



普通科 スキー実習

1年7組 和泉 謙信
 今回のスキー実習で私は初めてスキーをしました。最初は転んではかりでしたが、インストラクターさんの指導のおかげでだんだんと滑れるようになりました。午後になると班の皆はとても上手にすべれていて、皆が楽しそうにスキーをしていました。スキー実習では松本玄先生がおっしゃっていたスキーを楽しむこと、班の人との協力ということがよくできたと思います。このスキー実習は私のいい経験といい思い出になったと感じました。



スポ科 スキー実習

1年1組 太田 光
 スキー実習を行った3日間はとても充実していたと思う。インストラクターさんに指摘されたことを心掛けながら実践した。最初は全くなかったことが時間が経つにつれてできるようになった。スキー実習だけでなく学業面や部活動、日頃の生活でも共通して言えるだろう。宿舎での行動、実習中の班行動は個人の自由を殺しての行動だったと思う。
 今回の実習は普段の学校生活では体験できないことを体験、体感することができた。



全国選抜出場に向けて

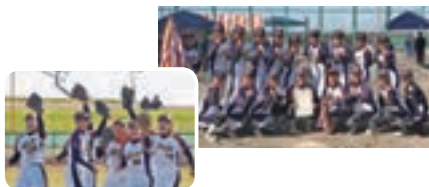
ソフトボール部 近江 愛宙

私達は、愛媛県松山市で行われる全国選抜大会に出場します。応援してくださっている方々に恩返しができるよう、自分達が持っている力を出しきり、全力で戦ってきます。応援よろしくお祈りします。

3月19日～23日 愛媛県松山市

21日第1試合9:00～

奈良文化高校対目黒日本大学高校の勝者と対戦



ハンドボール部 佐藤 歩

3月に行われる春の選抜大会では、東北大会で反省点をいかし、一戦一戦を全力で戦ってきます。部としての今年の目標は、「全国制覇」なので優勝目指して頑張ってきます。応援よろしくお祈りします。

令和2年3月20～24日 千葉県市川市

3月24日 鳥取境高校と対戦



2019 さが総文 書道部門に参加して

書道部 高橋 美音鈴

私は、県代表として全国高等学校総合文化祭書道部門に参加させていただきました。全国展を鑑賞したほか、開会式、交流会、講評会、閉会式に参加しました。

全国展では、各県代表の300点の作品が展示されていました。迫力のある大字作品や一枚に数百字書かれた細字作品など、レベルの高い作品ばかりでした。表現力豊かで個性溢れる作品に圧倒されました。

私は、県代表としての参加が決まってから、全国総文祭の入賞を目指して練習を重ねました。顧問の大森先生には毎日作品指導をしていただきました。また、学校の先生方や友人、家族からも応援してもらいました。一枚書き上げるのに長時間掛かる作品のため、苦しいこともたくさんありました。しかし、感謝の気持ちを忘れず、総文祭には全力を尽くした作品を発表することができました。入賞することはできませんでしたが、長い期間の作品制作を通じて自分自身も成長できたと思います。

総文祭という全国の舞台上に自分の作品も展示され、高校最後の夏は素晴らしい経験がすることができました。この経験を書道部の後輩たちに伝えていきたいです。また、自分の書道の勉強に生かしていけるように頑張っていきたいです。



ウィンターカップ出場

バスケットボール部 佐藤 大成

去る令和元年12月24日 武蔵野の森総合スポーツプラザを会場に香川県の尽誠学園と対戦した。

相手の堅い守りに前半苦戦したが、後半諦めず利府高の追い上げで前半を上回る頑張りを見せたが結果85対42で惨敗となった。全国の



舞台上、利府高校の泥臭いプレーとハードワークを最後までやり抜くことができ自分たちはこの経験を誇りに思い、後輩達にはこの経験をプラスに来年の高校総体頑張ってもらいたい。最後に応援していただいた皆さん、ありがとうございました。



令和元年度 宮城県高等学校新人大会 結果(ベスト4以上)

団体名	種別	種目	成績	氏名	
ハンドボール部	団体		第1位		
ソフトボール部	団体		第1位		
バレーボール部	団体		第2位		
バスケットボール部	団体		第3位		
ラグビー部	団体		第3位		
ソフトテニス部	女子	団体	第3位		
弓道部	男子	団体	第2位		
		射道男子	第3位		
剣道部	女子	団体	第3位		
		女子	第3位		
卓球部	男子	団体	第3位		
		男子学校対抗	第3位		
	個人	男子ダブルス	第2位	我妻 拓希・伊藤 万尋	
		男子ダブルス	第3位	佐藤 海利・佐藤龍之介	
女子	団体	第3位			
	女子学校対抗	第3位			
水泳部	男子	団体	第4位		
		個人	男子50m自由形	第1位	柴田 祐輝
			男子100m自由形	第3位	柴田 祐輝
	男子4×100mフリーリレー	第3位	柴田 祐輝・関本 裕介・澤村 優颯・高山 大地		
	女子	団体	第4位		
		個人	女子総合	第4位	
個人		女子100m自由形	第1位	渡部 渚	
		女子50m自由形	第2位	谷口 美玖	

団体名	種別	種目	成績	氏名	
水泳部	女子	個人	女子400m個人メドレー	第2位	櫻井 梨乃
			女子800m自由形	第3位	山本 美里
			女子100m背泳ぎ	第3位	佐藤 結
			女子100mバタフライ	第3位	櫻井 梨乃
		男子総合	第3位		
陸上競技部	男子	団体	男子トラック	第3位	
			男子800m	第1位	高梨 有仁
		個人	男子1500m	第1位	高橋 海
			男子3000mSC	第1位	高橋 海
			男子1500m	第2位	高梨 有仁
	男子5000m	第2位	野沢 悠真		
	男子八種競技	第2位	遊佐 祥太		
	女子	団体	女子総合	第4位	
			女子フィールド	第1位	
		個人	女子走高跳	第1位	小田嶋穂乃香
女子800m			第2位	菅田 瑠那	
女子三段跳			第2位	鈴木くるみ	
女子1500m	第4位	菅田 瑠那			
女子2000mSC	第4位	相原 遥南			



編集委員一同

今年度も、運動部・文化部ともに生徒の活躍が目立つ1年となりました。時代も平成から令和へと変わりさまざまに移り変わりの中で利府高生がこのような活躍できたことはうれしく思い私たちが編集委員も楽しく仕事をさせていただきました。鴻志発行に於いては原稿依頼など皆様からのご協力を賜り、編集委員一同より感謝申し上げます。おかげさまで「さわやかに」活動を終えることができました。ありがとうございました。

編集後記